

## 各エディションの機能比較

	Standard	Plus	Analytics Pro	Reader
質的データ分析	✓	✓	✓	MAXQDAで作成したファイルを閲覧するためのフリーソフト
量的テキスト分析		✓	✓	
統計データ分析			✓	

## ライセンス形態



### シングルライセンス

個人用のライセンスで、1ライセンスで2台のPC(WindowsとMacの組み合わせは自由)にインストール可能です。2台のPCを同時に利用したり、異なる二人の利用者が個別に利用することはできません。



### ポータブルライセンス

市販のUSBメモリをご用意いただき、そこへMAXQDAのプログラム(Windows用またはMac用)をインストールします。このUSBメモリをPCに接続し、USBメモリにインストールされているMAXQDAのプログラムを起動して使用します。MAXQDAを使用したいPCを固定しない場合や、グループで共有して使用したい場合におすすめです。

1ライセンスで1つのUSBメモリにインストール可能です。

※USBメモリとPCのUSBポートの規格はUSB3.0以上必須

※USB-Cアダプタやドッキングステーションを経由して接続する場合は動作保証対象外となります



### ネットワークライセンス

購入した同時起動型ライセンスをサーバにインストールし、それを同時に複数のユーザが利用するライセンスです。サーバ管理者はMAXQDAを起動しているクライアントPCをモニタすることができます。このライセンスはWindowsとMac OS XにインストールされたどちらのMAXQDAからも使用できます。5ライセンスからの提供となります。



### 学生版ライセンス

学生向けに大幅に割引された特別ライセンスです。エディションはStandardとAnalytics Proからお選びいただけます。6ヶ月または2年の利用期間が定められています。6ヶ月契約の場合は1台、2年契約の場合は2台のPCにインストール可能です。



### QDA Labライセンス

授業等の教育目的ご利用いただける安価な年次更新型のネットワークライセンスです。

仕組みはネットワークライセンスと同様で、ライセンス管理サーバでクライアントの起動台数を管理する形式です。10~40ライセンスでの提供となります。エディションはAnalytics Proのみとなります。

## 動作環境 (2019年11月現在)

	Windows	Mac
OS	Windows 10, 8.1, 8, 7 ※すべて64bit	Mac OS 10.15, 10.14, 10.13, 10.12
CPU	最小：2コア1.6GHz 推奨：4コア以上かつ2GHz 以上	
RAM	4GB 以上 推奨：8GB以上	
インターネット接続	初回設定時のライセンス認証で必須。 一度認証した後はインターネット接続は不要。	

## ネットワークライセンス・QDA Labライセンス サーバーPCの動作環境

OS	Windows 10, 8.1, 8 ※すべて64bit Windows Server 2019, 2016, 2012 R2, 2012
RAM	2GB 以上

※クライアントPCの動作環境はシングルライセンスと同じです。  
MAXQDAを使用している間は常にサーバに接続している必要があります。

## MAXApp for iOS & Android

Free!

スマートフォンで文書作成、写真・音声・動画のインポート、位置情報の付加、コーディングができるアプリです。

作成したファイルは、PCに転送し、プロジェクトファイルにインポートすることができます。



位置情報が自動で挿入されます

ライトストーンのユーザ様に、使用方法のテクニカルサポートをご提供しております。  
使用方法でご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

開発元



VERBI Software. Consult. Sozialforschung GmbH

正規国内代理店 ~ (株)ライトストーンはおかげさまで創立25周年を迎えました~



株式会社ライトストーン

〒101-0031 東京都千代田区東神田2-5-12 龍角散ビル7F  
TEL 03-3864-5211 FAX 03-3865-0050  
e-Mail : sales@lightstone.co.jp  
<https://www.lightstone.co.jp/maxqda/>

## 質的&混合法データ分析ソフトウェア



**MAXQDA**  
The Art of Data Analysis

これ1つで質的データの管理、分析、可視化、レポートの作成が可能！

グラウンド・セオリー・アプローチのように、テキストにコードを付けていく分析手法をはじめ、様々な分析手法に対応可能です





# データの収集・体系化・分析・可視化・レポートの効率化にお役立てください

## 1 文書システム

インポートしたファイルが表示されます。テキストでなく、Excelの表や画像、音声、動画、Twitterデータ、YouTubeデータ(コメント)など幅広い形式に対応しています。また、Endnote、Mendeley、Zoteroから文献情報と文献をインポートすることもできます。インポートした文書は、自由にグループ分けして整理することができます。

This screenshot shows the MAXMaps document system interface. It features a top navigation bar with tabs like 'Home', 'Import', 'Code', 'Text', 'Analysis', 'Mixed Research', 'Diagram Tools', 'Report', 'Stats', and 'MAXDictio'. Below the navigation bar is a toolbar with icons for 'Activate previous' (1), 'Search' (2), 'Complex Coding Query' (3), 'Search previous coding query' (4), 'Group comparison' (5), 'Summary Grid' (6), 'Summary Table' (7), and 'Summary Explorer' (8). The main area displays a hierarchical tree view of documents (1), a search bar (2), and a detailed view of a document (3). A sidebar on the right shows a list of documents and their counts (4).

## 2 変数・混合研究

文書に紐づくデータ(例えばインタビュー回答者の年齢や性別)を文書変数として入力し、統計分析の変数値として使用できます。また、特定のコードの数を文書変数に変換し、そのコードの数によって文書をグループ分けするなど、**混合研究法**に役立つツールがあります。

## 3 文書ブラウザ

インポートした文書の内容が表示され、文章・画像・音声・動画をコーディングすることができます。グラウンド・セオリー・アプローチを行う場合は、文章を選択しただけでコードを入力できるように自動的に切り替わる「オープン・コーディングモード」の使用がお勧めです。付与したコードは、左列にコードストライプとして表示されます。

This screenshot shows the MAXMaps document browser interface. It displays a transcription of an interview with George (1). The transcription is annotated with various codes (2) and concepts (3). On the right, there is a summary table (4) showing the frequency of different codes across the transcript. A sidebar on the left shows a list of documents and their counts (5).

## 4 メモ

研究のアイデアを書き留めるメモを、文書、文書グループ、コード、セグメントなどあらゆる場所に貼り付けることができます。作成したメモは、一覧表示・並べ替え・検索・リンク・グループ分けすることができます。

This screenshot shows the MAXMaps memo feature. It displays a list of memos (1) with their content (2) and creation details (3). Memos can be edited, sorted, and searched. A sidebar on the left shows a list of documents and their counts (4).

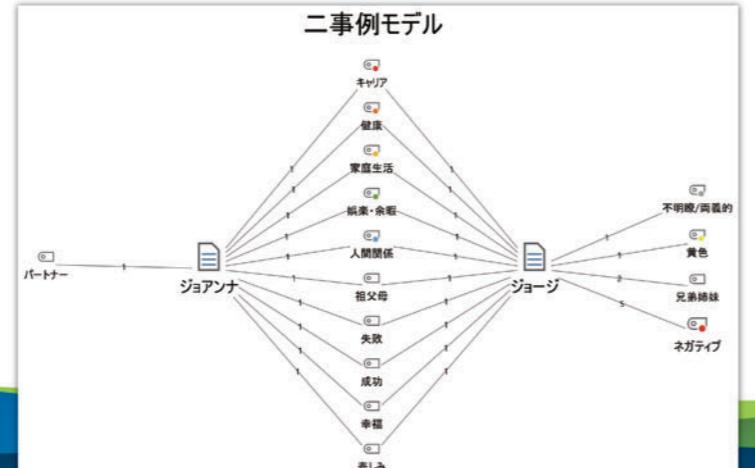
## 6 検索済みセグメント

コードと検索対象となる文書を選択(アクティビ化)すると、そのコードが付与されているセグメントが抽出されます。数クリックでデータのフィルタリングや検索ができる非常に便利な機能です。

## 7 図解ツール

様々な図解ツールを使用して、文書に付与されているコードの数を一覧表示したり、コード同士の関わりを图表化したりすることができます。MAXMaps3.0では、単一事例モデルや二事例モデル、コード交差モデルなど、概念モデルを数クリックで作成することができます。

This screenshot shows the MAXMaps matrix tool. It displays a grid (1) where rows represent categories and columns represent documents. The grid shows the frequency of various codes (2) across these categories. A sidebar on the left shows a list of documents and their counts (3).



## 8 サマリー

**コード・マトリックス**を作成するための支援ツールです。表形式で事例を比較しながらサマリーを記述・編集することができます。ワンクリックで元のデータを呼び出すことも可能です。分析後に着目したい事例のサマリーのみを表に出力してまとます。

This screenshot shows the MAXMaps summary tool. It displays a comparison of cases (1) and a summary table (2) showing the results of the comparison. A sidebar on the left shows a list of documents and their counts (3).

## 5 コードシステム

作成したコードがツリー形式で表示されます。ドラッグ&ドロップで編集でき、簡単に階層構造を作成することができます。コードツリーの左側ほど抽象度が高くなっているため、コードの構造を直観的かつ視覚的に捉えることができます。

This screenshot shows the MAXMaps code system feature. It displays a hierarchical list of codes (1) with their descriptions (2). A sidebar on the left shows a list of documents and their counts (3).

## 9 MAXDictio

MAXQDA Plus

MAXQDA Analytics Pro

「Plus」と「Analytics Pro」に搭載されている、**量的テキスト分析**のための機能。単語の頻度など、データマイニングのように量に注目することが可能です。

- 語の現れる頻度と組み合わせの分析
- 辞書機能を使った内容分析

## 10 Stats

MAXQDA Analytics Pro

「Analytics Pro」のみに搭載されている、**統計分析**機能。

コードの頻度や文書変数を統計分析することで、分析の根拠や妥当性を強化できます。

- 度数分布表
- 記述統計：平均、標準偏差、分散、中央値、四分位数、標準誤差、95%信頼区間など
- クロス表：絶対・相対度数、残差、カイ二乗検定、クラメールのV、一致係数Cなど
- 一元配置分散分析：検定結果を出力しないルビーン検定
- 相関：ピアソンの相関係数rとスピアマンの順位相関係数ρ
- 信頼性：クロンバッハのα